

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例

C. 教員の教育・研究指導能力の向上のための方策

③教育効果・成果についての検証と教育プログラムを改善するシステムの構築

③教育効果・成果についての検証と教育プログラムを改善するシステムの構築

《人社系》

●関西大学総合情報学研究科社会情報学専攻

「参加連携型の大学院教育による社会創造」の事例

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

本教育プログラムは、インターンシップやフィールドワークを取り入れてきた。その評価についてeポートフォリオやルーブリックを用いたが、学生の学びをすべて数値化して示す点に難しさを感じた。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

インターンシップやフィールドワークを経験した学生の振り返りは質的な評価として表わされる。本教育プログラムに関わる教員は、学生の変化を感じることはできるが、それを学外の教員に伝え、教育プログラムの具体的なあるいは数値的な効果を示していくことが困難であった。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

問題の解決のため、ルーブリックによる学生の振り返りを数値化して示すことや、学生の学修成果を「事例」として示すことで、本教育プログラムの評価を示すことができた。しかし、数値化の限界を評価者は十分に認識する必要がある。教育成果は簡単に数値化はできないだけでなく、安易に数値化することで問題を残す可能性が高い。評価として質的な記述をもっと積極的に取り入れるべきである。

《理工農系》

●帯広畜産大学畜産学研究科畜産衛生学専攻

「食の安全性確保の国際標準化による実践教育」の事例

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

海外調査を行い、「食の安全確保」のための「国際標準」に基づくカリキュラム改編、英語テキストの作成等を行った。このカリキュラム改編等を進めるにあたり、関係教員のコンセンサスを得ることが困難であった。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

この教育プログラムの趣旨が、必ずしも関係する全ての教員に十分に理解されていないことがあった。これにより、カリキュラム改編や英語テキストの作成作業が若干ではあるが遅れた。

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例

C. 教員の教育・研究指導能力の向上のための方策

③教育効果・成果についての検証と教育プログラムを改善するシステムの構築

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

専攻長とワーキンググループのメンバーを中心に、教育プログラムについての趣旨について、説明を行った。関係教員に十分に教育プログラムの趣旨を理解いただくというのが、その後の持続的なプログラムの推進につながると思う。

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例《非公表プログラムの事例》

C. 教員の教育・研究指導能力の向上のための方策

③教育効果・成果についての検証と教育プログラムを改善するシステムの構築

《非公表プログラムの事例》

C. 教員の教育・研究指導能力の向上のための方策

③教育効果・成果についての検証と教育プログラムを改善するシステムの構築

●事例7

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

教育プログラムを改善するため、PDCA サイクルを稼働させる体制を構築した。

PDCA それぞれに対応する委員会等を設置したが、個々の委員会の独立性を担保することが十分できなかった。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

小規模大学であるため教員数が少なく委員が重複することもしばしばあり、たとえば実施する側と評価する側を分離することができず、客観的な評価ができたかわからないことがあった。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

一部に外部委員を導入したが、学外者はプログラムを十分に把握するだけの時間もなく、主な部分は学内の教員で実行する他なかった。

委員会方式ではなく、PDCA それぞれに1名ずつ責任者を配置しその責任者がすべてを実施する方が機動的であり小規模大学にとって適切であると考えている。